

地域母子保健福祉情報紙 No.244

公益社団法人 母子保健推進会議

親子保健

お や こ ほ け ん

定款第 1 章第 3 条 目的 (抜粋)
国及び地方自治体
関係諸団体と連携協力して
母子保健の重要性を啓発し
母性の健康を守り たかめ
心身ともに健全な児童の
出生と育成に寄与してまいります

「母推さん」から改称しました

ネウボラ国際シンポジウム 「妊娠期からの『ひとつながり』の子育て支援」開催



全国から参集した多くの関係者

妊娠期から母子を中心に家族全体に寄り添う事業の推進のため、そのモデルの一つともされているフィンランドのネウボラから学ぶことを目的に、同国でネウボラ事業の中核にある方を講師として招聘し、シンポジウム「妊娠期からの『ひとつながり』の子育て支援～フィンランドのネウボラに学ぶ～」を3月17日(木)、赤坂区民ホール(東京都港区)にて開催した(主催: 科研費助成「切れ目のない子育て支援: フィンランドのネウボラからの示唆」、共催: 大阪小児保健研究会・大阪から切れ目のない妊娠・出産・子育てを進める会・科研費助成「高齢妊娠・初産の母親に対する支援とヘルスリテラシー構築プログラムに関する研究」・本会議、後援: 厚生労働省・フィンランド大使館・フィンランドセンター、協力: 港区・(-財)港区国際交流協会)。

開会にあたり、リーサ・ヴェルタモフィンランド大使夫人からショートメッセージをいただいた(代読・フィンランド大使館広報部堀内都喜子プロジェクト・コーディネーター)。「1920年代に始まったネウボラの前身である母子保健クリニックにより、母子の健康は大幅に改善されました。本日ロビーで展示している『育児パッケージ』をもらうためには、妊娠初期に健診に行かなければなりませんから、妊婦健診の受診率向上に役立っていることは言うまでもありません。

ネウボラは、ただの健診センターではあ

りません。子どもが小学校に上がるまで、家族全体の健康と幸せをサポートします。ネウボとはフィンランド語でアドバイスの意味ですが、新米ママ、パパが親になれるようにスキルをアドバイスし、子どもが幸せに健康に育つように自信をつけ、応援していくところです。私たちの子どもたちが、幸せで健康な人生のスタートを切れるよう、努めてまいります。」(抜粋)

【基調講演】

ネウボラーフィンランドからのメッセージ

フィンランド社会保健省・国立保健福祉研究所研究統括・特任教授 トゥオヴィ・ハクリネン先生
続いて、フィンランドでネウボラ保健師として豊富な経験を持ち、現在は、ネウボラ事業についての調査研究、人材養成、政策提言などを行い、ネウボラ事業の中核にあるハクリネン先生が基調講演を行った。通訳は、わが国におけるネウボラ研究の

熊本地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます

今月のページ

- ネウボラ国際シンポジウム「妊娠期からの『ひとつながり』の子育て支援」開催... 1～5
- 紙上セミナー: 8020の里づくり「妊娠と歯周病」/「スマートライフプロジェクト」... 6～7
- 子育てママの一步一步(19)/「早寝早起き朝ごはんフォーラム」開催... 8～9
- ネウボラのエッセンスから今後の事業に生かすポイントを探る～専門職セミナー開く... 10
- 平成28年度母子保健推進会議事業計画・新会長紹介... 11
- 「8020の里賞(ロッセ賞)」申し込み受付開始・「健やか親子21全国大会」ご案内... 12